



# 星の郷総合教室

No. 183

平成27年9月25日発行

電話072-895-6230

名前 \_\_\_\_\_

塾報受取日 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

## 星の郷教室 10月の予定

- 9月28日 10月度授業料引落日  
(10月8日 引き落とし予備日)
- 10月18日(日) 通信珠算競技大会
- 10月24日(土) 暗算検定申込締切  
(12月5日実施)
- 10月25日(日) 1～3級・段位検定
- 11月1日(日) 特別強化練習
- 11月3日(火) 全関西学生選手権

## 特別練習の予定と対象者

9月26日 午後5時～7時

- アドバンスト・チーム (A-team)
- 通信大会出場者
- 1～3級・段位受験者
- 全関西出場者

10月10日 午後5時～7時

- アドバンスト・チーム (A-team)
- 通信大会出場者
- 珠算1～3級・段位受験者
- 全関西出場者

10月17日 午後3時～5時

- 通信大会出場者のみ  
午後5時～7時
- アドバンスト・チーム (A-team)
- 通信大会出場者
- 珠算1～3級・段位受験者
- 全関西出場者

10月24日 午後3時～5時

- 珠算1～3級・段位受験者のみ  
午後5時～7時
- アドバンスト・チーム (A-team)
- 珠算1～3級・段位受験者
- 全関西出場者

10月31日 午後5時～7時

- アドバンスト・チーム (A-team)
- 全関西出場者
- そろばん大阪一決定戦出場者

10月3日の特別練習はありません

## ☆11月1日 特別練習☆

午前10時～午後4時まで、星の郷教室で行います。参加資格は、11月3日の全関西出場者と、11月23日のそろばん大阪一決定戦出場者です。正午から1時間、昼食休憩をとります。昼食は家に食べに帰っても教室に持ってきて構いません。参加者は31日までに申し出て下さい。

## ☆10月25日検定について☆

2・3級…星の郷教室 午前8時  
1級…北大阪会議所 午前11時20分  
段位…星の郷教室 午前8時

当日は午前7時に教室を開けます。自由に練習してください。1級は会場に直接行ってください。時間に余裕を持って行動してください。会議所までの行き方についての案内は教室にありますので必要な方は申し出てくださ

い。1級受験の中学生以上は生徒手帳が必要です。

### ☆10月18日通信大会について☆

会場は守口門真商工会館。京阪電車「門真市」駅下車15分です。現地集合・現地解散ですが、引率を希望する皆さんは申し出て下さい。午前9時開始、午後1時終了予定です。

### 12月13日実施

### あんざん種目別チャンピオン大会

暗算検定受験者ならびにi-testの暗算を3種目とも練習している皆さんは全員出場できる大会です。実力別に部門と問題を分け、暗算能力を競います。該当者には別途案内と申込書を渡していきます。

暗算検定の合格級、またはi-testの認定済み級によって、出場する部門が決まります。

◎大会日時

平成27年12月13日

部門によって開始時間が異なります

◎場所 大阪府立労働センター（京阪電車天満橋駅から徒歩5分）

### 中学生クラス

9月29日、10月6日の午後7時20分から9時まで中学生のみの勉強とそろばん練習用に教室を解放します。活用して下さい。

### 9月13日塾生ブロック大会結果

◎個人総合競技 小学生2部

(小学4年生以下)

優勝	永津	敦之	500
3位	山内	美空	500
6位	由比	彩菜	495
9位	平生	絵理	490
金賞	岡田	亜瑠	
銀賞	池田	優花	
銀賞	大上	航正	
銀賞	和泉	琴音	
銅賞	井上	楽耀	
銅賞	西井	萌	

銅賞 見山 紀子

◎個人総合競技 小学生1部

(小学5・6年)

優勝	金本	愛夢	500
準優勝	梶本	悠生	500
3位	大内	峻聖	500
5位	和泉	初音	500
6位	岩成	桃	500
7位	奥田	南海	500
8位	越野	貴也	500
9位	盛井	結子	500
金賞	齊藤	小春	
金賞	岩瀬	菜々香	
金賞	田代	和花	
金賞	湊	結子	
銀賞	四宮	彩花	
銀賞	西井	颯一朗	
銅賞	田中	友子	
銅賞	見山	真菜	
銅賞	村田	拡己	
銅賞	田中	穂夏	

◎個人総合競技 学生の部

(中学生・高校生)

優勝	金本	三夢	500
準優勝	金本	大夢	500
3位	岩成	海	500
5位	神山	周	485
6位	奥田	あさひ	480
9位	山内	優歩	450

◎団体総合競技…3部門優勝

星の郷教室	小学生2部	1495
(永津敦之・山内美空・由比彩菜)		
	小学生1部	1500
(金本愛夢・梶本悠生・大内峻聖)		
	学生の部	1500
(金本三夢・金本大夢・岩成海)		

◎読上暗算競技 小学生2部

2等	岡田	亜瑠	由比	彩菜	大上	航正
	永津	敦之	山内	美空		

◎読上暗算競技 小学生1部  
優勝 金本愛夢  
2等 大内峻聖 梶本悠生 湊結子  
3等 盛井結子

◎読上暗算競技 学生の部  
優勝 金本大夢  
2等 金本三夢 岩成海 奥田あさひ  
3等 神山周

◎読上算競技 小学生2部  
優勝 永津敦之

◎読上算競技 小学生1部  
優勝 大内峻聖  
2等 金本愛夢  
3等 梶本悠生 和泉初音 田代和花

◎読上算競技 学生の部  
優勝 金本三夢  
2等 金本大夢 岩成海 山内優歩  
3等 奥田あさひ

### 暗算検定結果

☆1級合格  
岡田亜瑠 出口来実 松野未佳  
由比彩菜

☆準1級合格  
村田拡己 渡邊悠

☆2級合格  
井上楽耀 伊藤優生 井手蒼人

☆準2級合格  
金子直毅 金井叶斗

### 出席時間20時間以上の生徒

(9月20日までの1ヶ月)

田代和花62 梶本悠生55 盛井結子55  
和泉初音53 平生絵理53 金本愛夢  
52 藤江茉奈52 奥田南海51 山内美  
空51 岩瀬菜々香48 奥田花48 見山  
紀子47 見山真菜46 和泉琴音46 大  
内峻聖46 永津敦之45 湊結子44 岡  
田亜瑠44 村田拡己44 福井夏歩43  
西井萌42 大上航正38 井上心結38  
田中章太郎38 平井望彩38 大土井穂  
賀38 竹下綾音37 吉永灯36 渡邊安

菜36 大土井楓賀36 井上寛大34 岩  
成桃34 大土井慧賀34 金本大夢34  
越野貴也33 福原健太33 古川愛佳33  
渡邊一貴33 奥田あさひ32 松岡晃  
大31 分林椿31 山根未来31 由比彩  
菜30 上林剛士30 四宮彩花30 石川  
ひなた29 楓陸29 吉田彩良29 西井  
颯一郎28 文沢駿介27 井上楽耀27  
大野虹26 茅島悠斗26 久保心暖25  
池田優花25 堀さやか24 近藤楓24  
齊藤小春24 澤田一心24 青田裕哉23  
西松美咲23 田中広美23 西畑美伶  
23 眞井夏希23 水越友香23 山内優  
歩23 神山周22 古川治親22 宮城葵  
22 小林千尋21 小林知世21 中村颯  
希21 松井一真21 若林日和21 渡邊  
悠21 木中心大郎20 一宮敬智20 村  
上小夏20 森本爽月20

(あと1時間で20時間) 兼松咲菜 熊谷圭祐 岩  
成海 白川香乃 田中瞳夏 高山翔太 沼田輝  
西村優里菜 松田拓也 室宏樹 山田創大

### 猛スピードばく進中(PERFECT)

(初歩教材PERFECTを1ヶ月で20ペ  
ージ以上進んだ生徒)

松井一真89 松本康希65 宮城葵61  
三木翔雲59 西村悠治50 今中僚47  
中野佑美47 橋本葉里45 高山優42  
今門克将41 大橋碧40 三好駿風39  
吉岡春菜37 日高希愛35 松本悠花34  
澤田一心33 服部愛瑠32 根岸豊31  
室宏樹29 外間彩乃27 山口太雅25  
下岡和生23 高谷楓乃23 加地美空21  
石橋欣仁郎21 菅瑞稀20

### フラッシュ暗算合格者

(9月20日までの1ヶ月間)

- 十段** 梶本悠生
- 六段** 奥田あさひ
- 四段** 久保田莉央 永津敦之 盛井結子
- 三段** 永津敦之 住吉海飛 堀さやか  
若林秀星
- 二段** 文沢駿介 見山真菜 見山紀子
- 一段** 奥田花 伊藤優生 茅島悠斗  
西井萌 村田拓己
- 2級** 分林椿 森萌歌
- 3級** 大土井慧賀 小林千尋 近藤楓  
分林椿
- 4級** 井上心結 西松優大
- 5級** 石川ひなた 貝谷憲吾 中村颯希  
井上心結 西松優大
- 6級** 沼田輝 森山紗英
- 7級** 森山紗英
- 8級** 江連舞 熊谷優里 木中心太郎  
松岡晃大
- 9級** 上林剛士 山根蒼馬 木中心太郎  
松岡晃大
- 10級** 藤原梨乃 若林奈優 木中心太郎  
松岡晃大

### いろいろな経験を積みましょう

7月のA1グランプリ大会や9月の塾生珠算競技ブロック大会、12月のあんざん種目別チャンピオン大会は、レベル別・学年別に問題が設定されているため、出場しやすい大会といえます。出場しやすいとはいえ大会ですから成績がつきます。

検定試験は、基準点に対して越えているかどうかという絶対評価ですが、大会は相手に対してどうかという相対評価です。そのため、「勝った」「負けた」という結果に関心が向きがちになります。

結果として目標としていた位置に立つことができればありがたくも嬉しい

ことなのですが、大会の価値を勝敗だけにとどめておくのはいかにももったいないことです。

初めて足を踏み入れる会場。隣には見知らぬ人。平常心とはほど遠い状態で取り組みます。練習でできていたことができずに、頭の中はパニックか真っ白。気がつけば終わっていた、なんていうことが起きるのが大会です。

こんな非日常の環境下で、生徒個人がどんな様子を見せるか、という一点に私たち指導スタッフの関心の大半が向けられます。練習で取っていた点数と本番との差や昨年大会との比較、会場内での立ち居振る舞い。これらの要素から教室での次の指導課題が見つかることが少なくありません。

8月に行われました全大阪オープン大会でのことです。昼食休憩中、ある関東の選手と先生が会場の片隅で、当日使用された伝票算を手に取りながら熱心にやりとりしている光景がありました。練習用に作成していた伝票との違いや、昨年の同大会で配布された伝票との微妙な違いについて話し合っていたのかもしれませんが、大会から新たな課題を見いだす光景を垣間見ることができました。

さて、勝敗だけが大会の価値ではないのと同様、検定も合否がすべてではありません。合否が大きなウエイトをしめるのは紛れもない事実ですが、生徒の年齢・意欲・取り組みの姿勢などによって、合否以外の部分が占める割合は変化します。

おおよそ世の中で行われる検定・試験は、実力のバロメーターを表すことを主目的にするものと、あるグループ・職業に属する権利を得たり、あるグループから卒業する権利を得ることを主目的とするものがあります。珠算検定は昭和40年代頃までは資格試験とし

て後者のイメージが強かったものです。が現代ではそろばん学習が能力・脳力を伸ばす習い事として現時点での実力を現す尺度となる検定があり、また同時に学習意欲を高める強い動機付けの手段としても広く利用されています。

ところで、項目名として掲げました「いろいろな経験を積みましよう」の「いろいろ」には、検定・競技以外にも非日常的な行事として合宿があります。今年、合宿を終えてから数日後に参加者から感想文を提出してもらいました。昨年までは合宿最終日の練習終了直後に短時間で感想文を書かせていましたので、「あーしんどかった」「花火、楽しかった」などに代表されるなんとも寂しい感想が多かったのですが、今年はさすがに時間をかけただけあって内容のあるものがたくさんありました。そんな中から、今回は、中学女子生徒2名と、今春千葉県からの転居にともなって星の郷教室に入会しました小学6年男子生徒の3名分を紹介します。

さて、合宿で私たちスタッフが一番考えるのが班分けです。仲良しグループ・仲良しコンビを一緒にするのが良いか、敢えて離れた方が良いか。特定の友達がいなくても合宿に申込をしてくれた生徒をどの班にするかなど、合宿で学んで欲しいこと、合宿で伸ばしたいところ、合宿後の生活のことなどを考えてグループ分けをします。もちろん、こちらの狙いと願いがうまくいく場合もあれば、目論見が外れる場合もあります。

互いに遠慮している合宿一日目はうまくいっていた班なのに、慣れてきてわがままが出だす二日目にトラブル発生。それでも最終日、短い感想をビデオカメラで収録するときには何事もなかったかのようにとりあえずその場を

取り繕って営業スマイルを絶やさないので大したものです。

合宿では生活習慣が違う人間が同じ部屋で寝泊まりします。違いが出てきたときは一方が我慢するか、両方が我慢して譲り合うか、両方が我慢せずにぶつかるかしかがありません。

今年も部屋を暗くしないと寝付けない人と暗いとこわくて寝付けない人が同部屋になりました。さすがに日常の授業を見ているだけでは見抜くことができず、同じ班になりました。

「暗くする派」は、「暗くしない派」に対して、眼をつぶってしまえば暗くなるのだから、電気を消しても良いじゃないかと言ひ、「暗くしない派」は「暗くする派」に対して、これまた同様に眼をつぶれば暗くなるのだから電気を点けていても良いじゃないかと言ひます。どちらも眼をつぶれば良いという結論にはなるのですが、「暗くする派」は、別名「明るいと眼をつぶれない派」であり、「暗くしない派」は別名「暗いとこわくて眼をつぶれない派」ですから、眼をつぶるまでの前提が正反対。これは、どちらかが眼をつぶって我慢するしかない周囲が説得しても個別的自衛権を主張して互いに譲らず、という一幕があったそうですが、他の班にこの情報が伝わってこなかったため、集団的自衛権は未発動。

話し合いの後、知恵を出し合って出した結論は頭の向きを反対にして電灯の影響を最小限にしようとしたことだったそうです。しかしこの案も互いの足の臭いに一瞬で頓挫。あまりの臭さに気を失って一件落着となったかどうかは知りませんが、次の朝にはスッキリとした顔で朝食会場に現れましたからこれも良い思い出となるでしょう。

前置きがずいぶん長くなってしまい

ました。

-----  
交野3中2年 楓まい

今年は、反省点の多い合宿となりました。その反省点は、点数がずっと低かったこと、集中が続かなかったことです。点数が低かったのは、はじきまちがいが多かったり、あせって速くなって頭がついていかなかったりしたからだと思いました。また、今年で四回目の合宿なのに一番集中が続かなかったのは、日頃の練習量が少なかったことも原因だと思います。

これらの反省点をふまえて、おちついて、ゆっくりとていねいに珠をはじくことをこれからの練習でやっていきたいと思っています。

また、集中を続けさせることができるように日頃から練習に多く行きたいと思っています。集中力に関しては、勉強でも言えることだと思うので頑張っていきたいです。

反省点が多かったですが、嬉しかったことや楽しかったこともたくさんありました。

嬉しかったことは、ご飯を全部食べることができたことです。今までは、苦手なものだったら、一口も食べなかつたのですが、今年は、「苦手なものでも食べてみよう」と思って食べてみたら、意外と、全部食べることができました。自分で成長したなと感じました。

また、嬉しかったことは、二日目の夜のレクです。今年の一つのレクを中学生がお手伝いをして、参加しました。初めて先生側に立ってみたら見える景色が違いました。皆が、楽しそうに話し合う姿や笑いながら答えに行く姿がたくさん見れました。そんな姿が見れて嬉しかったので、本当によかったです。

また、班の皆と仲良く楽しく、過ごすこともできたのでよかったです。

今年が一番楽しくて、あっという間に終わった合宿になりました。来年も行くことができれば、もっと楽しんで、そしてもっと良い点数を取りたいと思います。

-----  
交野3中2年 奥田あさひ

私は今回の合宿で5回目の参加です。

初めての合宿から今回の合宿まで、色々な面で成長したなと思います。

そろばんをする面では、初めて参加したときはまだそろばん検定1級までかなり遠いレベルでしたが、今では1級を合格して珠算4段・暗算5段を持っています。

また合宿で練習するチャレンジャーズでは毎年点数が上がっていき、種目ごとに満点が取れたり、かけ算の時に左手を使いながら計算できるようになりました。

生活面では、友達が増えるかや、友達と仲良くできるかなど色々不安でしたが、毎年友達も増え、班のみんなや色々な子と仲良くできています。

食事面では、最初は全然完食できずに毎食何かを残していましたが、今回の合宿では何回かご飯を完食できました。

そろばんの合宿は学力だけでなく生活態度や食事など色々な面で成長できると思います。

今回の合宿の目標は「チャレンジャーズで毎回800点以上取る」ということでした。毎回800点は取れなかつたけれど、取れなかつたときでも800点に近い点数で抑えることができたので良かったです。また、みとり算とみとり暗算で、3桁分けて計算するときと2桁分けて計算するときとの点数差があまり変わらなくなつたのもうれしかったです。

これからの練習ではもっと色々なことにチャレンジして上手になるように頑張りたいです。

最後になりましたが、合宿に5回も行ってくれた親に感謝しないとイケな

いなと思います。

-----  
藤が尾小6年 梶本悠生

8月17日から19日にかけて夏期強化合宿に初めて参加させていただきました。

今回合宿に参加するにあたって僕は、二つの目標を立てました。

まず一つ目は、両手そろばんを上達させて、伝票算をより早く正確にできるようにし、全大阪オープン大会に向けて総合1000点以上をとることでした。合宿に参加した当初はいつもと変わらず850点前後しか取れず、「このままだと、合宿中に900点を取るのも難しい」と早くもあきらめモードになってしまいましたが、先生から伝票のめくり方や解答数を増やす工夫を丁寧に教えていただき、それまで8問程度しか解答ができなかった伝票算・伝票暗算が13問まで解答できるようになり、最終日には総合得点でも、安定して950点前後を取れるようになりました。

2つ目の目標は、5月に入塾したばかりで普段の練習ではあまり話ができなかった人たちと交流を深めることでした。合宿ではレクリエーションゲームや班での活動を通して多くの人と話しました。特に2日目の夕食後に開催された花火は打上花火がきれいでもっとも楽しかったです。これをきっかけに、普段の練習時においても、多くの人たちと積極的に交流を深め、より沢山のことを吸収していければと思います。

合宿に参加するまでは、慣れていないせいもあり、正直期待より不安の方が大きかったですが、短期間で珠算のレベルアップができ、また沢山の人たちとも交流ができ、とても有意義な時間が過ごせました。今回の強化合宿の成果もあり先日出場した全大阪オープン大会においては、苦手になっていた伝票算で110点、伝票暗算で120点が取れ、総合でも950

点となり、小学生部門で優秀賞を獲得することができました。来年度も全大阪オープン大会で1050点以上、中学生部門での優秀賞獲得を目標に、強化合宿には是非参加させていただきたいです。

-----  
☆今月号ではもう一つ、文章を掲載します。星の郷教室の最年長生、岡田秀樹さんに原稿を書いていただきました。本文にも出てきますが、現在新たな技術の獲得に向けて取り組んでいる様子を伝えたくてお願いしました。

-----  
みなさん、こんにちは。岡田秀樹と申します。一昨年1月より星の郷総合教室でお世話になっております。塾報には二回目の投稿となります。よろしくお願い致します。

よく四十の手習いとか五十の手習い、七十-----、八十のと、色々を使うようですが、本来の使い方は、「六十の手習い」が正解のようです。これらの意味するところは、齢を取ってから何か新しいことを始めるということです。

私は、今53歳ですので、「五十の手習い」になりますが、一ヶ月程前から、そろばんのかけ算(6桁×5桁の問題:答は11桁または10桁)の暗算化に取り組んでいます。

少し込み入った話となりますが、なぜ今、私がかけ算の暗算化を始めたのか、その経緯をお話します。

私は、元々、読み上げ暗算を得意とする選手で、大学四年の1983年、全日本珠算選手権大会読み上げ暗算競技で日本一となりましたが、社会人となり、松下電器(現パナソニック)珠算部で活動を始めたころから、かけ算、わり算などの珠算種目にも力を入れるようになりました。日本珠算連盟の段位認定試験レベルで言いますと、大学時代、珠算総合4段(かけ算、わり算、みとり算がすべて160

点以上)であったのが、会社に入って2年目の1985年には、珠算総合7段(同すべて220点以上)を取得しました。この時は、かけ算が235点で、わり算、みとり算は240点を超えており、かけ算があと一題(5点)正解ならば珠算総合8段となっているところでした。この一題足りなかったことが後々、大変残念な結果をまねくことになってしまいました。(暗算総合段位は、1985年に9段を取得)

日本珠算連盟が珠算名人位決定戦という我が国の珠算トップ選手を集めて日本一を競う大会を二年に一度開催しております。私は、1988年の神戸での大会に初出場しましたが、この時の出場資格は、「珠算総合6段・暗算総合6段以上」というものでした。この出場資格が二年後の広島大会で改定され、「珠算総合8段・暗算総合8段以上」となり、私は珠算名人位決定戦に出場することができなくなりました。その後2002年の青森大会から2012年の広島大会まで出場資格が「6段以上」に下がったため出場できましたが、2014年の横浜での大会から再び出場資格が「8段以上」に上がり、出場資格を失いました。30年前の日本珠算連盟段位認定試験でのかけ算の一題(5点)の正答の不足で、7回の珠算名人位決定戦への出場機会を失ったこととなります。もちろん、この間、珠算総合8段取得をめざし、かけ算で240点(10分で基本6桁×5桁の問題を48題正答)取れるようにとそろばんをはじいてチャレンジを続け、何十回も段位認定試験を受験してきましたが、報われておりません。

今回のかけ算(6桁×5桁)の暗算化の取り組みの第一の目的は、この珠算総合8段取得にあります。30年前に置き忘れてきたものを拾ってきたいと思うのです。ぜひ、これを成しとげて、2016年に開催される珠算名人位決定戦の舞台に立ちたいのです。この他の目的として

は、毎年10月に開催される全日本通信珠算競技大会や8月開催の全大阪オープン珠算選手権大会などで、読み上げ暗算力を活かしたかけ算の暗算化で総合得点のアップにつなげていきたいと考えております。

現在、かけ算暗算化の特訓問題を金本先生からいただき、また、直近の通信大会の問題でのかけ算(6桁×5桁)の暗算化に取り組んでおります。取り組みをスタートした一週間では、これはすぐにもものになるかと思えたのですが、その後は、一進一退の状況です。日によってできばえが違いますし、一題一題の問題によっても、なかには時間をかけても暗算では正解を出せないものがあり、こういう時は、そろばんをやってみて正解を確かめ、暗算でやり直して正解が出せるまでねばり強くトライしています。その昔、パナソニックを創業した松下幸之助氏が、「私は失敗しない。なぜならば、成功するまでやめないからだ。」と言ったことですが、私も同じ意気込みで、何としても、かけ算(6桁×5桁)の暗算化を成しとげたいと決意しております。

金本先生からの「岡田さん、6桁×5桁のかけ算、暗算でやってみませんか」というアドバイスからスタートした「五十の手習い」、これからが正念場となりますが、頑張っって取り組んで参ります。また、後日、次回投稿で、その成果についてご報告できればと考えております。

-----  
何度もこの塾報で書いていますが、どんな分野でも伸びる人に共通の条件があります。それは「素直であること」と「あこがれを持つこと」です。素直であれば周囲からのアドバイスも集まりやすくなります。「あこがれ」はこの場合「目標」とほぼ同義語で、明確であればあるほど達成へのイメージがわいてきます。年齢は無関係です。